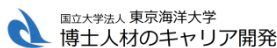


トピックス

- ☆第1回目の講義が開催されました！
- ☆1名が長期インターンシップを終了しました！
- ☆キャリア開発室のホームページがリニューアル！

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室からのお知らせです。
イベントのお知らせ、事業報告等をお届けしています。



国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodal.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● キャリア開発室からのご挨拶

私たちキャリア開発室は、ポストドクターおよび博士後期課程に在籍する皆さんが、主体的なキャリア形成の重要性を理解し、職業の選択という人生における大事な意思決定をする際のご支援をさせていただきます。

キャリア開発室からのお知らせや、長期インターンシップ、講義やワークショップの開催日程等も、ホームページやニュースレター等を通して定期的に発信しています。また、長期インターンシップ、その他キャリア開発全般に関する相談窓口も利用できますので、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。私たちは、皆さんのお役にたてることを願っています。

キャリア開発室一同

● 講義・ワークショップの開催報告

第1回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱが、5月24日(金)に開催されました。
「ビジネス社会のルール
～コンプライアンスとマナー～」森 栄氏 (三菱マテリアル株式会社 顧問)

初回ということで、初めに竹内俊郎先生より、本科目の主旨および受講登録の方法について説明があり、『博士号取得後は、様々なキャリアパスがあることを知ってもらいたい。』と述べられました。

続いて森氏より、社会人として必須の法律基礎知識についての講義がありました。具体的な事例を豊富に示しながら、時には法律の文章を読み、丁寧に説明されたことで、聴講者にも分かり易く受け入れられていたようです。

始めにコンプライアンスとは、「企業ばかりでなく個人に対しても、社会とのかわりにおいて守るべき行動規範」であり、企業が生き残るために必要であることを強調されました。続いて、「信義に従い、誠実に行動する」ことや、「社員と企業の損害賠償責任」について、パロマ湯沸器事件を例示して解説されました。それに関連して、三菱グループの基本理念のひとつである「処事光明」について紹介があり、事業の経営はフェアプレーに徹しなければならないという意味であるとの説明がありました。森氏はかつて、『仕事は成果ではなく、やり方が大事である。』と教わったという言葉が印象的でした。

セクハラ等の解説場面では、立ち上がって身振り手振りで具体的に示しながら熱弁を振るわれ、楽しくまた分かり易く話を聴くことができました。また、反社会的団体に対する対応等の説明は、非常に具体的に分かり易く、企業の現実を理解する貴重なお話であり、森氏の経験の豊富さを窺い知ることができました。最後の章で森氏は、「社会人のビジネスマナー」としてたくさんの事例を挙げて解説をされ、『人に好感を与える、人に迷惑をかけない、人に敬意を払う、が根幹の精神である。』と述べられた森氏の言葉が心に残りました。

このような社会人マナーを基礎から学ぶ機会は少なく、また社会に出る前に正しく学ぶことの重要性を痛感することができた、という意見が多かった講義でした。森氏が、『博士号取得者が社会に出て、恥をかかないために役立てれば。』という思いで講演された意図が、よく伝わった講義内容だと感じられました。



● 【次回】第2回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ 開催のお知らせ

【次回の開催予定】 ※日程と教室が変更になっておりますのでご注意ください。
第2回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱは、6月20日(木)に開催されます。
「企業が求める人材像」小島伸一氏 (株式会社いであ 取締役相談役)

インターン研修生を受け入れていただいた実績もある、株式会社いであの小島伸一氏をお招きしてご講演いただく予定です。

【対象者】ポストドクター、博士前期課程および後期課程の学生
【日時】平成25年6月20日(木) 16:20～17:50
【場所】品川キャンパス 講義棟32番教室

※大学院生の皆さんへ
10回程度開講予定の高度専門キャリア形成論を7回以上出席した場合に、下記の単位を取得することが可能です。

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位 (1単位)
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位 (1単位)

企業のトップとして活躍された方のお話を直接ける貴重な機会です。
皆さん、ふるってご参加ください。



● 長期インターンシップの報告

ポストドクターの渡邊隆司さんが、3か月間(平成25年1月30日～4月26日)の長期インターンシップを終了されました。

渡邊さんは、海域・陸域の環境調査・分析、環境保全計画や海洋構造物の計画・設計等を手掛ける環境総合コンサルタント会社で研修をされました。

研修では、依頼先からの生体サンプルや環境整備事業に使用される資材内の生物分析等の直接的な調査業務に加え、報告書の作成・チェックや情報収集・整理等に関する業務にも従事されたそうです。渡邊さんは、長期インターンシップを通じて学んだことについて、次のように語っておられます。

『大学では専門分野ごとに使用する試料が限定されることが多いが、企業の環境調査ではむしろ幅広い生物の分類や扱いが重要視されるため、依頼された環境下に生息する多様な生物を目的にすることができて見聞が広がった。また、開発により変化した生物相の再生等の様々な報告書の添削も行ったため、環境改善のための手段(共生護岸・鉄イオン供給ブロックの設置)や、その評価のための生物調査等に使用する機器などについても学ぶことができた。』

また、『博士号取得者は、その分野のデータ精度における信用度の高さに貢献し、また解析に必要な道具を選択するうえで、専門的知識を活用することによって業務の効率化に貢献できる。』との感想を持たれたそうです。

今回の実践体験が、渡邊さんにとって有意義なものとなり、今後のキャリア形成に役立つことを、キャリア開発室一同で願っています。

実践現場で貴重な研修体験をしてみませんか！
◆長期インターンシップの研修候補生を募集中しています。
◆応募についての詳細は、キャリア開発室ホームページからご覧いただけます。

● キャリア開発室のホームページが新しくなりました

「よりシンプルに、より分かり易く」をコンセプトに、ホームページをリニューアルしました。皆様のキャリア開発にお役立ていただければ幸いです。

<http://www.kaiyodaicareer.com/> または、大学公式ホームページのリンクから